

かけはしがわ

梯川重点区間改修事業の推進

梯川水系梯川（石川県小松市）

- 安全で安心な地域づくり
 - ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川で、氾濫域に人口、資産等が集中している一方で、洪水の流下能力が著しく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～鍋谷川合流点間（1.0k～7.6k 間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次、引堤による堤防整備により流下能力の向上を図っています。

また同改修区間においては小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し、地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成21年度の事業内容

近年洪水では、平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と「はん濫危険水位」を超え、避難勧告等がなされるなど危険な状況にあることから、引き続き重点改修区間で市街地が隣接している小松地区の築堤・護岸、用地補償等（水路・市道付替等）、附帯施設（小松大橋、天神水管橋等）の改築及び上小松地区の護岸を推進します。



改修の進む梯川（平成20年4月撮影）

